

発表報文原稿作成要領

1. 原稿枚数

原稿枚数は、口頭発表及びポスターセッション発表とも4枚とします。

2. 原稿作成上の注意事項（以下、口頭発表とポスターセッション発表共通）

(1) 原稿の取り扱い

提出していただいたPDF原稿は、そのまま**報文集**（CD-ROM版）を作成します。

報文の原稿作成は、**日本語で作成**して下さい。

(2) 文字のサイズ等

文字は、パソコン（日本語）を使用し、書式設定は次の条件を標準にセットして下さい。

用紙サイズ：A-4版

用紙の方向：縦方向

印字の方向：横方向

左余白：20ミリ

右余白：20ミリ

上余白：25ミリ

下余白：25ミリ

文字サイズ：10.5ポイント

文字数：45文字

行数：40行

なお、節、項（後述参照）などの文字は、やや大き目の文字にするか、太めにするなどの工夫をして下さい。

(3) 報文名および氏名等

報文名および氏名等は、別紙1**原稿記載例**を参照して下さい。

発表者の所属・氏名は所定の欄に記入して下さい。なお、共同執筆者が2名以上の場合は連記し、**発表者氏名の頭に○印**をつけて下さい。ただし、共同執筆者の**連記は3名以内**とします。

報文番号は事務局で記入します。報文番号スペースには記入しないで下さい。

(4) 内容構成

報文は、節、項等で区分し、出来るだけ簡明な構成となるようお願いします。

節、項等の記号は、次の例を標準として下さい。なお、記入にあたっては3ページの原稿記載例を参照して下さい。

節：1. 2. 3.

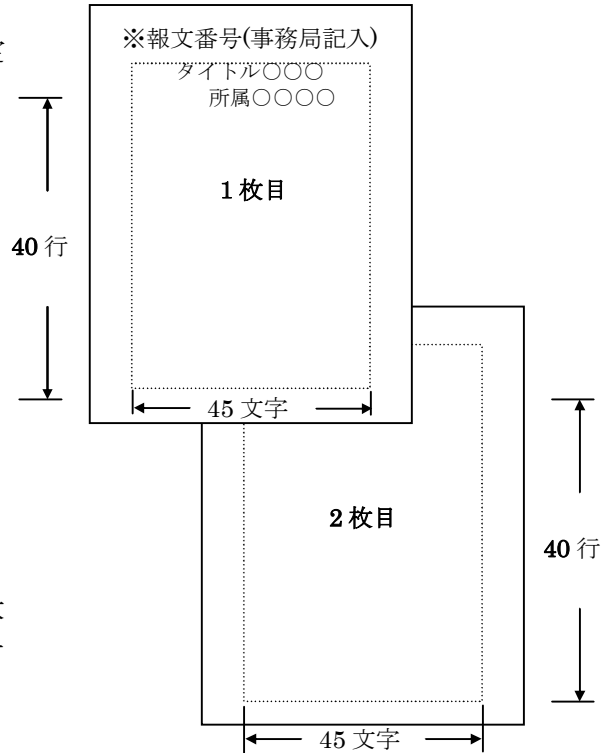
項：2. 1. 2. 2.

小見出し (1) (2) (3)

① ② ③等

(5) かな使い等

使用する文字及びかな使いは、原則として「常用漢字音訓表」または「現代かな使い」によって下さい。



(6) 術 語

術語は、必要に応じて文部科学省編集の「学術用語」または関係学会制定の術語を参照して下さい。

(7) 数字、アルファベット等

数字、アルファベットおよびギリシャ文字は、特に明瞭に記入して下さい。

例えば、aと α 、tと1とI、nとa、0とO、pと ρ 、rと γ 、nとu、wと ω 、zと2、等の区別や、C、K、O、P、S、U、Y、W、X、Z等の大文字と小文字の区別が紛らわしくならないようにお願いします。

また、「上つき」、「下つき」の添字として使用する数字またはアルファベット等は、それぞれが添字であることを明確にするために小さく、かつ上・下の区別をはっきり付けて下さい。

(8) 改 行

本文はできるだけ10行から15行以内で行を改め、改行した場合は行の頭を一字下げて書き始めて下さい。

(9) 文字等の割付け

句読点、括弧（ ） コロン： および引用記号には1字を充てて下さい。

(10) 図・表

図・表は、原則として本文中に組み込んで下さい。また、図・表の左右が空く場合は、その部分にも本文を記入して下さい。

図・表には、それぞれの通し番号と必要に応じて説明文を付して下さい。**図の場合は下側に、表の場合は上側に記入して下さい。**

(例：図-1 ○○○○、 表-2 ○○○○)

(11) 写真

写真は、図・表と同様な取り扱いでお願い致します。

写真には、それぞれ通し番号と必要に応じての**説明文を下側に記入して下さい。**

(例：写真-3 ○○○○)

(12) ページの記入

原稿のページは、**無記入**でお願いします。

3. 報文概要版 (口頭発表、ポスターセッション発表共通)

タイトル名、会社名及び発表者名を記載しWord形式で500文字以内で「日本語」で入力して下さい。(別紙2報文概要版 記載例)

別紙 1 : 原稿記載例

(13ポイントMSゴシック太字)

9マスあける

舗装路面の将来予測について

(1行あける)

〇〇〇〇〇(株) 〇〇〇研究所 北陸 太郎
〇甲野 乙郎
山川 大地

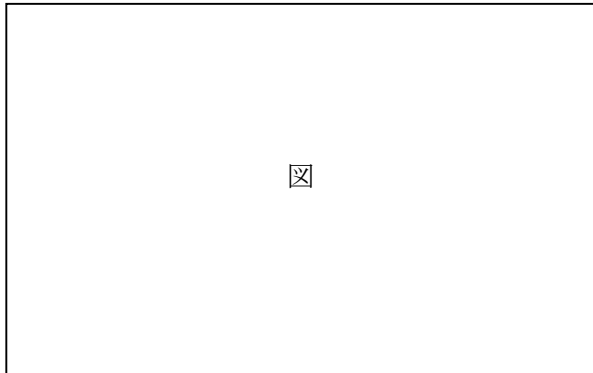
3マスあける

(11ポイント)

(連名は3名まで)

1. はじめに

舗装路面は、交通量の増大と通行車両の重量化、さらに北陸地方においては冬期間のタイヤチェーンの使用によって、摩耗や破損が.....
ような状況に対処するためには.....
を把握することが重要である.....
このため、従来から.....
状の評価、予測等を.....
は、比較的簡単で.....
トンネル内、あるいは.....
状変化の似通った地区を.....
工法ごとに式を作成し従来の.....
本文は、「わだち掘れ予測式」.....
てシュミレーションした結果を報告するもので.....。



図

図-〇 〇〇〇〇〇〇〇〇

2. 〇〇〇〇

2. 1 〇〇〇〇〇〇

所属表示記載例

- ① 〇〇〇大学 〇〇〇学部
- ② 〇〇地方整備局 〇〇〇課
- ③ 〇〇地方整備局 〇〇〇工事事務所
- ④ 〇〇県 〇〇〇課
- ⑤ 〇〇県 〇〇〇事務所
- ⑥ 〇〇市 〇〇〇課
- ⑦ 〇〇市 〇〇〇事務所
- ⑧ 〇日本高速道路(株)〇〇支社
- ⑨ 〇日本高速道路(株)〇〇事務所
- ⑩ 〇〇〇(株) 〇〇〇研究所

別紙2：報文概要版 記載例 (提出は、平成 24 年 2 月 7 日(火)報文発表申込書と一緒に提出して下さい。)

MS 明朝 11 ポイント(電話番号、FAX 番号は半角)

報文名：(例) 舗装路面の将来予測について

発表者名：北陸 太郎

勤務先：〇〇〇(株) 〇〇研究所 所属：〇〇課〇〇係

連絡先：TEL 025-111-2222 FAX 025-111-3333

分類：口頭発表又はポスターセッション発表

課題：(例) 一般報文 舗装の調査・設計、施工、材料、耐久性向上に関する技術

(MS 明朝 11 ポイント)

500文字以内。必ず「日本語」で記載する。

「実施事例等」 北陸地方整備局〇〇国道事務所 平成 22 年度〇〇舗装工事他

※実施事例等については、開発途中等で無い場合は、「無し」と記入して下さい。